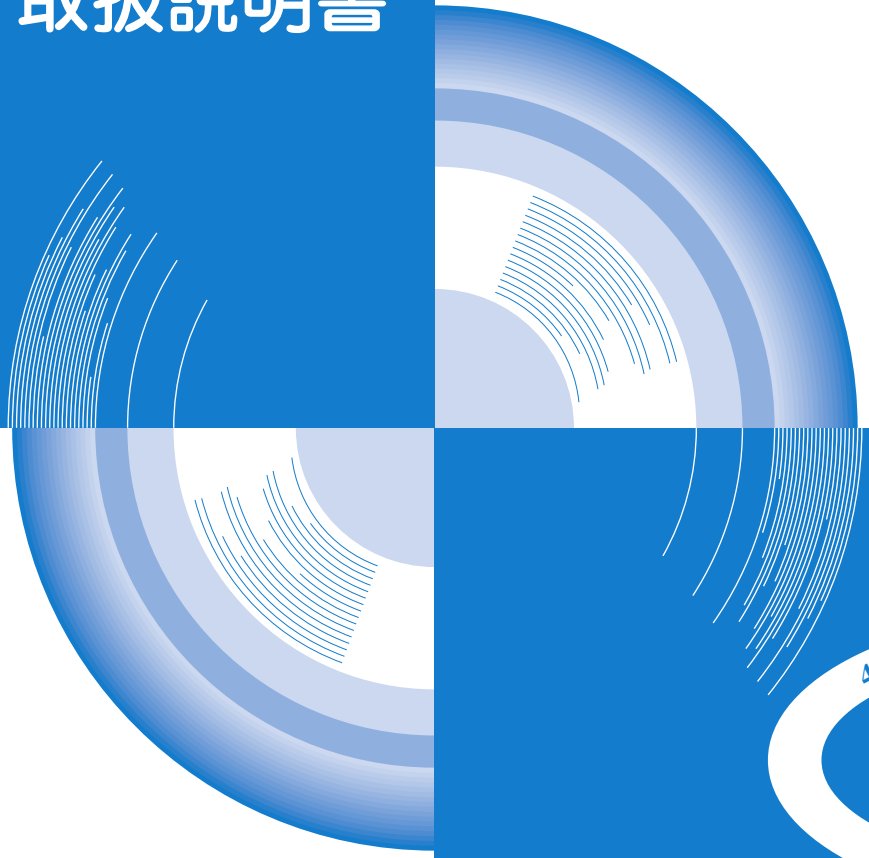
取扱説明書

YAMAHA





3HT-28199-J4

JAU01891

はじめに

ヤマハ車をお買いあげいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買いあげいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。
車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。
車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。
また、メンテナンスノート、セーフティガイド（バイクをより安全にお乗りいただくためのアドバイス）もあわせてお読みください。
本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠	**安全にかかわる注意情報を示してあります。**
⚠警　告	**取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。**
⚠注　意	**取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**
要　点	**正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。**

車の受け取りの際には、お買いあげいただいた販売店から「取扱説明書」「メンテナンスノート」「セーフティガイド」を受け取り、以下の説明を必ずお受けください。

- 車の正しい取り扱い方法
- 日常点検、定期点検整備
- 保証内容および保証期間
- 保証書の発行（保証書裏面の記入・捺印）

※ 車をゆずるときには、次の持ち主のために本書もお渡しください。

※ 仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

もくじ

安全運転のために 2
あなた自身と同乗者のために 2
歩行者と他の車のために 7
環境・住民の方との調和のために ... 8
名称と操作 10
各部の名称 10
計器類の見かた 12
イモビライザーシステム 14
盗難警報器（オプション） 15
キーの取り扱い 15
メインスイッチ 16
ハンドルロック 17
ハンドルスイッチの使いかた 18
フューエルコック 20
チョークノブ 21
ヘルメットホルダー 21
シートの取り外しかた 22
シートの取り付けかた 22
書類入れ 22
サービスツール 23
サスペンションセッティング 23
デコンプレバー 24
燃料補給 25
ガソリンの給油 25
運転操作 27
エンジンのかけかた 27
走りかた 29
ギヤチェンジのしかた 30
シフトダウンのしかた 30
ならし運転のしかた 31
ブレーキの使いかた 31
エンジンの非常停止 32
日常点検 33
日常点検の実施 33
日常点検箇所／点検内容 33
日常点検の方法 34
定期点検整備 39
定期点検整備の実施 39
定期点検整備の方法 39
アンダーブラケットの
取り付け状態の点検
（ステアリングステム） 40
クラッチレバーの遊びの点検 40
ドライブチェーンの点検 41
エアクリーナーエレメントの
点検 41
車体各部の給油脂状態の点検 42
バッテリーの点検 42
ブレーキパッドの点検 43
ブレーキシューの摩耗点検 43
やさしい整備 44
やさしい整備 44
ブレーキの遊びの調整 45
ブレーキ液の補給 46
ブレーキランプスイッチ 47
クラッチレバーの調整 47
エンジンオイルの補給 48
エアクリーナーエレメントの
清掃 49
ドライブチェーン 50
バックミラー 50
タイヤ 51
バッテリー 51
ヒューズ 53
お車の手入れ 55
洗　車 55
エキゾーストパイプのお手入れ 56
保管のしかた 56
アフターケア用品について 57
サービスデータ 58
製品仕様 58
サービスデータ 59
車両情報 ..... 巻末

JAU03768

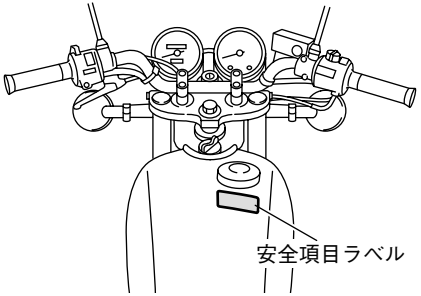
JAU01895
安全運転のために

JAU01896
この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。

■安全運転とは、交通ルールを守ることだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

JAU04655
1.あなた自身と同乗者のために

◆安全項目ラベルについて



運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。
車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。

⚠ 警 告

・取扱説明書をよく読んで安全な運転をしましょう。
・ヘルメットを正しくかぶりましょう。
・マフラーは熱くなります。人が触れにくい場所に駐車する等の配慮をしましょう。
・ヘッドランプを昼間はロービーム点灯しましょう。
・違法改造はやめましょう。
・定められた点検整備をメンテナンスノートに従って励行しましょう。

3XC-2118K-10

◆安全運転は正しい服装から

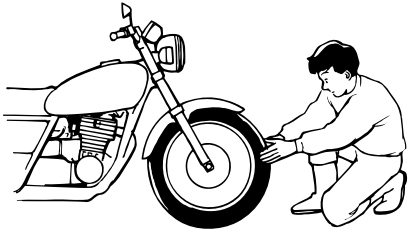


- ヘルメットは必ず着用してください。
  ヘルメットはSまたはSG、JISマークのある二輪車用を必ず着用してください。
  ヘルメットは正しくかぶり、必ずあごひもをしめます。頭にしっくり合って、圧迫感のないものが最適です。
- グローブを必ず着用してください。
- ヘルメットにシールドを着用してください。着用できないときは、ゴーグルを使用してください。
- 運転する服装は、明るく目立つ色で動きやすく、体の露出が少ないものを着用してください。疲労を少なくし、万一の転倒時には身体を保護します。
  ズボンのすそや袖口の広い服は、運転操作のじゃまになり、思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。
- 靴はかかとが低く、足にピッタリしたものを選んでください。
- 同乗者にも上記の注意を守らせてください。

⚠警　告

ヘルメットを正しくかぶっていないと、万一の事故の際、死亡または重傷に至る可能性が高くなります。
運転者と同乗者は、必ずヘルメットをかぶり、正しい服装で乗車してください。

◆日常点検、定期点検整備を必ず行う



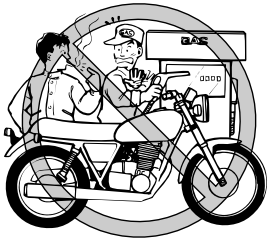
事故や故障を防ぐため、法令で定められた1日1回ご使用前に行う日常点検と、法令で定められた6か月、12か月ごとに行う定期点検は必ず実施してください。

◆車の異状

次のような場合は、車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと、走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあり危険です。販売店で点検・整備を受けてください。

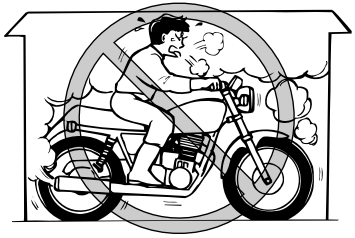
- 異音がしたり、異臭や異常な振動があるとき。
- 地面に燃料、オイル、冷却水などが漏れた跡があるとき。

◆給油時は火気厳禁



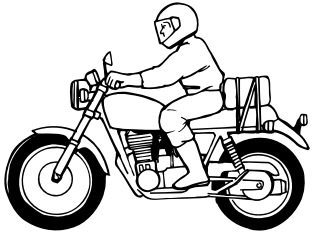
ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。

◆風通しの悪い場所でエンジンを始動しない



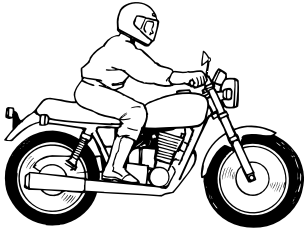
排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。
風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。
エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

◆荷物はしっかり固定する



荷物を積むと、積まないときにくらべて操縦安定性が変わります。
荷物はしっかりと固定し、積み過ぎないように注意してください。

◆両手はハンドル、両足はフットレスト

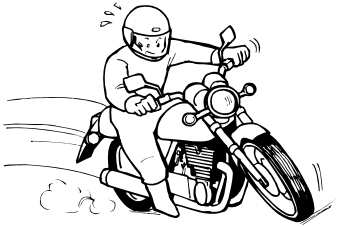


- 運転するときは、両手でハンドルを握り、両足をフットレストにのせます。
- 同乗者には、両手で体をしっかり固定させ、両足を必ずフットレストにのせさせます。

◆乗車定員は2名

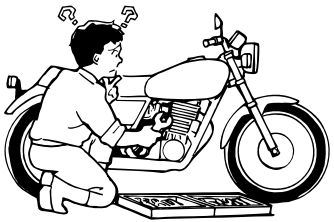
ただし、免許取得後 1 年未満の運転者は、法令により 2 人乗りはできません。

◆急激なハンドル操作や片手運転はしない



急激なハンドル操作や片手運転は、横すべりや転倒の原因となります。絶対にしないでください。

◆自己流のエンジン調整、部品の取り外しはしない



エンジン調整はヤマハ販売店におまかせください。

JAU03225

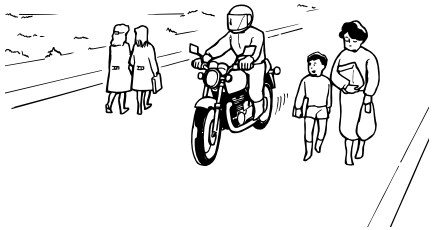
2 .歩行者と他の車のために

◆継続検査（車検）は2年ごとに



小型自動車(251cc以上）は国で定める2年ごとの継続検査を受けなければ使用できません。
期間満了前に必ず受けてください。

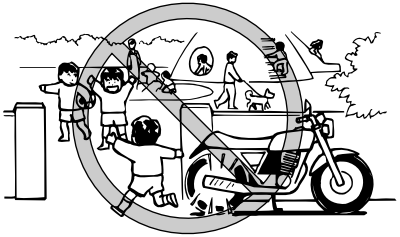
◆他の人への思いやり



- 交通ルールを守り、まわりの歩行者や車の動きに注意し、相手の立場について思いやりの気持ちをもって通行しましょう。
- 周囲の状況に注意して、安全なスピードで走行してください。
  歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な距離を保つか徐行してください。

◆駐車

- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。また、Pロック、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。
- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 平坦な場所に駐車してください。
  やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- 車から離れる前に、スタンドが確実にセットされているかを確認してください。

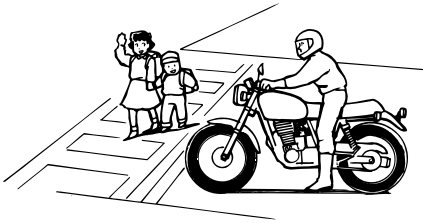


⚠警　告

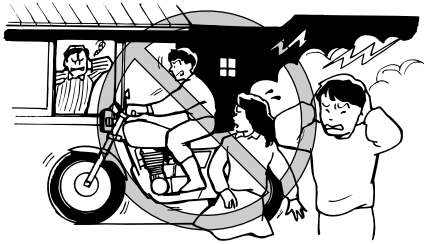
- **エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。**
  また、物などが直接触れないようにしてください。
- **駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。**

3.環境・住民の方との調和のために

◆住民の方への思いやり

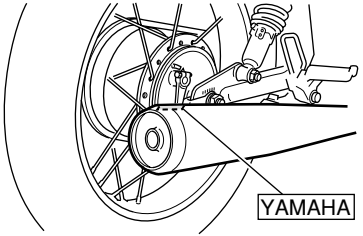


自分の都合だけを考えて、沿道の方に不愉快な騒音などの迷惑をかけないでください。



特に深夜の住宅街や人通りの多い道路などで長時間のアイドリングや急発進などを行うと、迷惑になりますのでしないでください。

◆違法改造はしない



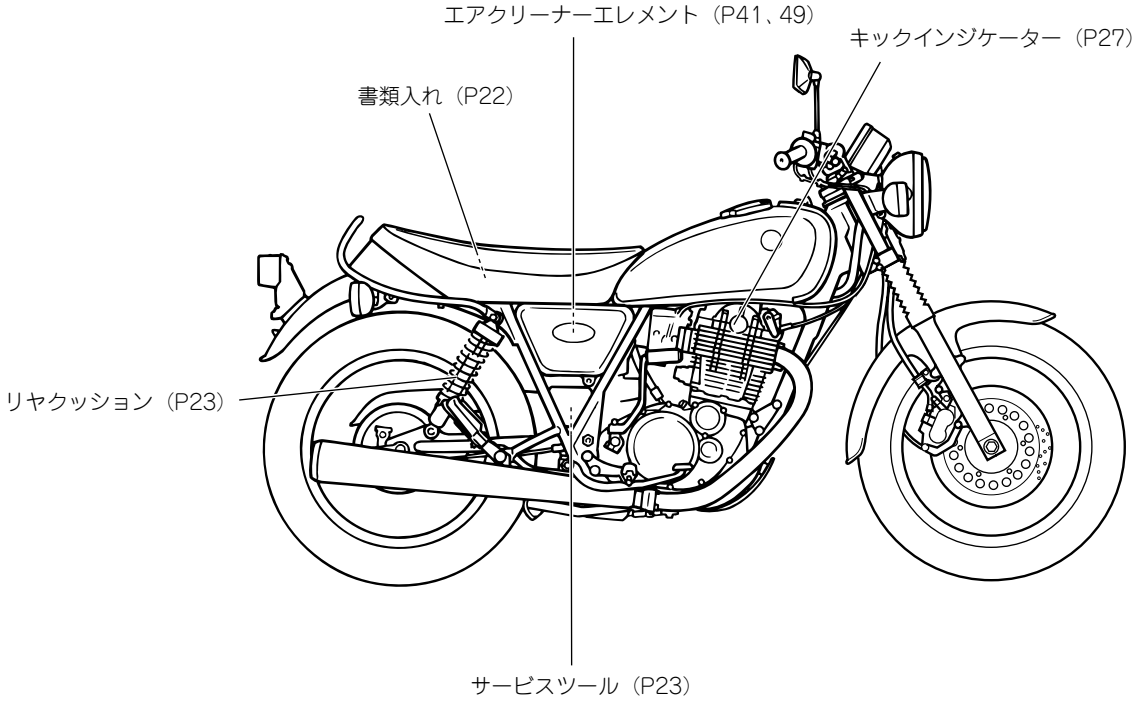
違法改造は法律により禁止されています。改造は操縦安定性を悪くしたり、排気音を大きくして車の寿命を縮めたり、重大な事故や故障の原因となります。
また、改造すると車の保証が受けられません。
なお、ヤマハ純正部品のマフラーには“YAMAHA”マークが刻印されています。

◆環境への配慮

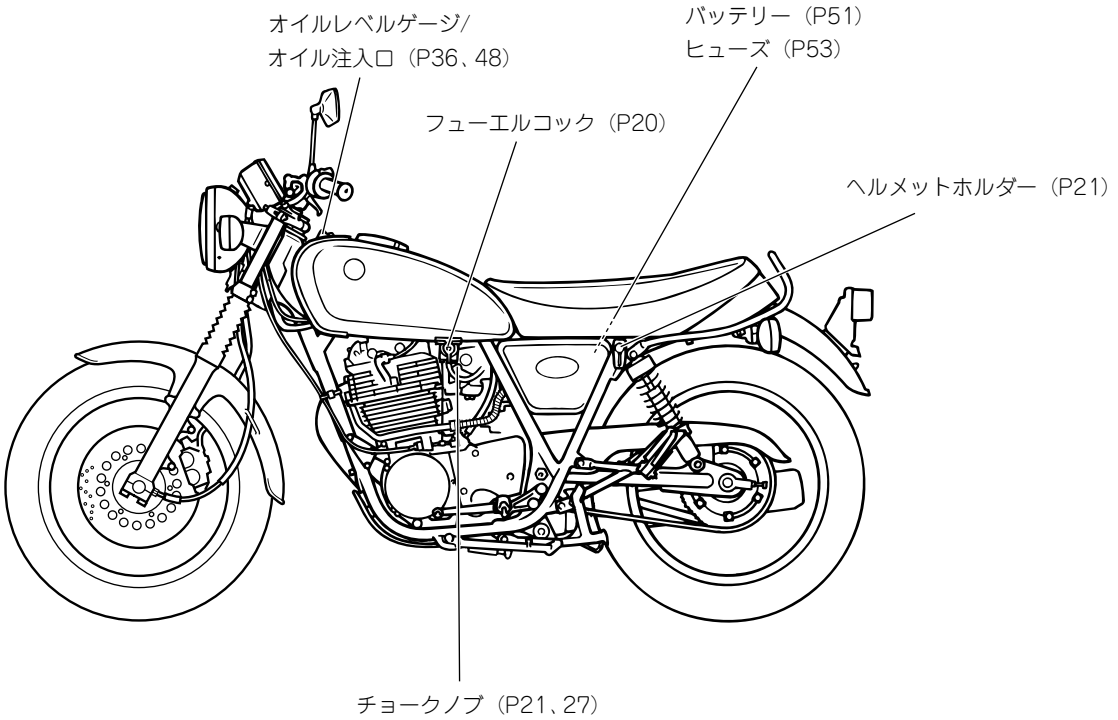
廃車をするときや、バッテリー、廃油などの廃棄処理をするときは、環境保護のためお買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。

JAU01917
名称と操作

JAU01918
各部の名称

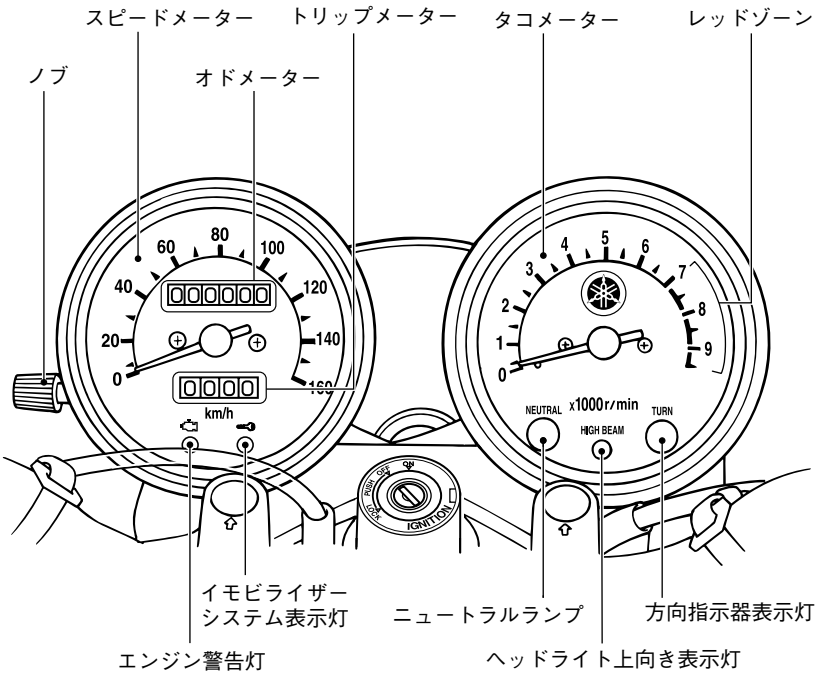


各部の名称を示してあります。（　）内に参照ページがあるものは、そのページに詳しい説明があります。
（……部は外からは見えない部分です。）


オイルレベルゲージ/
オイル注入口（P36、48）
バッテリー（P51）
ヒューズ（P53）
フューエルコック（P20）
ヘルメットホルダー（P21）
チョークノブ（P21、27）

JAU01919

計器類の見かた



JAU01922

◆スピードメーター

車の速度を指針で示します。

JAU01924

◆オドメーター

走行した総距離を示します。
1ケタ目（白地に黒文字）が100m単位で、2ケタ目がkm単位です。
オイル交換や定期点検整備の目安にもなります。

JAU01928

◆トリップメーター

メーターをリセット（数字が“0”）した時点からの走行距離を示します。
リセットするときはノブ（つまみ）を回します。

JAU01936

◆タコメーター

毎分のエンジン回転数を示します。
指針が赤色表示部（レッドゾーン）に入らないように走行してください。

▲注　意

レッドゾーンとは、エンジンの許容回転数オーバーを示しています。エンジンをレッドゾーンで使用すると、回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を与えます。

JAU01941

◆ニュートラルランプ（NEUTRAL）

メインスイッチがONで、ギヤチェンジがニュートラルのときに点灯します。

JAU01944

◆方向指示器表示灯（TURN）

方向指示器に合わせて点滅します。

JAU01945

◆ヘッドライト上向き表示灯（HIGH BEAM）

ヘッドライトを上向き点灯すると、表示灯も点灯します。

JAU03458

◆エンジン警告灯（ ）

エンジンに異常が発生すると、点灯または点滅します。点灯（点滅）したときは、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

▲注　意

警告灯の球切れや回路の点検のため、メインスイッチをONにすると約1.4秒間点灯します。点灯しないときや消灯しないときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU09068

◆イモビライザーシステム表示灯（ ）

この車には、盗難抑止のためにイモビライザーシステムを装備しています。
メインスイッチをOFFにすると、イモビライザーシステムが機能し、メインスイッチOFF後、約30秒経過するとイモビライザーシステム表示灯が点滅を始めます。その後、約24時間経過すると表示灯は消えますが、イモビライザーシステムは機能しています。

要　点

表示灯の球切れや回路点検のため、メインスイッチをONにすると表示灯が約1秒間点灯したあと消灯します。点灯しないときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

自己診断機能

この車には、イモビライザーシステムの異常を知らせる自己診断機能を装備しています。メインスイッチがONの状態であれば、エンジンの始動、停止にかかわらず、検出した異常内容のコードをイモビライザーシステム表示灯の点灯または点滅で表示します。

▲注　意

自己診断機能が働いたときは、ヤマハ販売店にて点検・整備を受けてください。

イモビライザーシステム表示灯が長く5回点滅した後、短く2回点滅するパターンの異常コード表示を繰り返したときは、キーのIDの認識が妨げられた可能性があります。

3本のキー全てで、エンジンが始動できるかを確認してください。エンジンの始動ができないキーがあった場合には、お買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。

要　点

他のイモビライザーキーをメインスイッチに近づけたり、複数のイモビライザーキーを同じキーリングにつけたりしないでください。（この車のキーも含みます。）IDの認識を妨げ、エンジンの始動ができないことがあります。

JAU09070*

イモビライザーシステム

この車には、盗難抑止のためにイモビライザーシステムを装備しています。イモビライザーシステムとは、メインキーおよびサブキーにトランスポンダ（固有のIDを持った発信機）を内蔵しており、あらかじめ車両本体のイモビライザーユニットに登録されたIDのキー以外ではエンジンの始動ができないようにしたシステムです。

JAU09071

盗難警報器（オプション）

この車には、オプションで盗難警報器を装着することができます。
装着については、お買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。

JAU09079

キーの取り扱い



マスコット部が赤いメインキーが 1 本とマスコット部が黒いサブキーが 2 本あります。
メインキーはサブキーのIDを登録するときに必要な大切なキーですので、普段は車の操作には使用しないでください。車の操作には、必ずサブキーを使用してください。

▲注　意

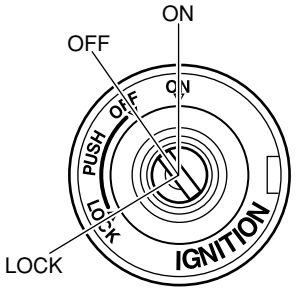
キーを取り扱うときには、下記の内容を必ず守ってください。

- **メインキーは大切に保管し、紛失しないよう注意してください。メインキーを紛失するとイモビライザーユニットにサブキーのIDを登録することができなくなります。また、3本のキー全てを紛失した場合は、イモビライザーシステムの構成部品全てを交換しなければなりません。**
- **キーを水に浸けないでください。**
- **キーを高温になる場所に置かないでください。**
- **キーに磁気を帯びたものを近づけないでください。**
- **キーを落として強い衝撃を与えたり、重いものを載せたりしないでください。**
- **キーを削ったり、穴を開けたりして形状を変えないでください。**
- **キーを分解しないでください。**
- **複数のイモビライザーキー（この車のキーも含みます。）を同じキーリングにつけたり、メインスイッチに他のイモビライザーシステムを近づけたりしないでください。IDの認識を妨げ、エンジンの始動ができなくなることがあります。**

JAU02013

メインスイッチ

メインスイッチはエンジンの始動と停止、ブレーキランプや方向指示灯などの電源の「入/切」、ハンドルロックを行います。



JAU02021

ON

- エンジンの始動ができます。
- テールランプ、メーター灯が点灯します。
- エンジンを始動させると、ヘッドライトが点灯します。
- キーは抜けません。

要　点

エンストしてもヘッドライトは点灯しています。

JAU02036

OFF

- エンジンを止めます。
  エンジンは始動できません。
- キーの抜き差しができます。

JAU02038

LOCK（ハンドルロック）

- ハンドルをロックします。
- キーの抜き差しができます。

JAU02042

⚠警　告

走行中にメインスイッチをOFFやLOCKの位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。
メインスイッチは必ず停車中に操作してください。

JAU02045

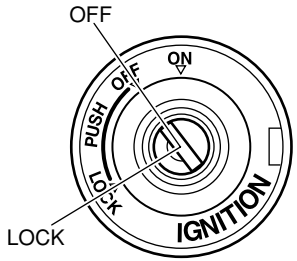
⚠注　意

- **盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。**
- **メインスイッチをONのままにしたり、エンジン始動後アイドリング状態を長時間続けると、バッテリーあがりの原因となります。注意してください。**

JAU02053

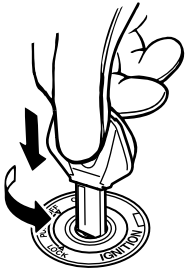
ハンドルロック

ハンドルロックは駐車時などの盗難予防用です。



ロックのしかた

1. ハンドルを左へいっぱいに切ります。
2. OFFの位置でキーを押し込み、そのままLOCKまで回します。



要　点

ロックしにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回します。

3. ハンドルを軽く左右に動かして、ロックを確認します。
4. キーを抜きます。

⚠警　告

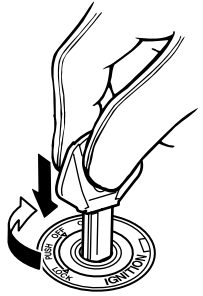
- **交通のじゃまにならない場所に駐車してください。**
- **平坦な場所に駐車してください。**
  やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- **エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。**
  また、物などが直接触れないようにしてください。
- **駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。**

⚠注　意

盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。

解除のしかた

キーをLOCKの位置で押し込み、そのままOFFまで回します。

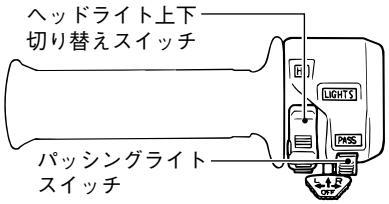


⚠警　告

走行前にハンドルを左右に切り、切れ角が左右均等であるかを確認します。

JAU02070

ハンドルスイッチの使いかた



JAU04111

◆パッシングライトスイッチ（PASS）

ヘッドライトの上向きを点灯させるスイッチです。先行車の追い越しなどで、他車に合図をするときに使用します。

要　点

ヘッドライト上下切り替えスイッチがHIのときは、使用できません。

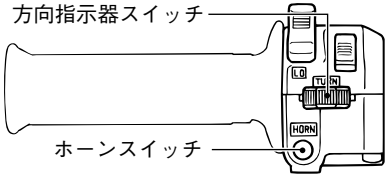
JAU03916

◆ヘッドライト上下切り替えスイッチ（HI LO）

ヘッドライトの配光を上向き、下向きに切り替えるスイッチです。
HI（上向き）：遠くを照らします。
LO（下向き）：近くを照らします。

要　点

先行車や対向車があるときは、ヘッドライトを下向きLOにしてください。



JAU03550

◆方向指示器スイッチ（TURN）

進路変更の合図に使用します。
操作は、進路変更する側にスイッチをスライドさせます。
消灯するときは、スイッチを押します。

R：右側の方向指示灯が点滅します。
L：左側の方向指示灯が点滅します。

⚠警　告

方向指示灯は自動的に消灯しません。使用後は必ず消灯してください。点滅したままにしておくと、他の方の迷惑になります。

⚠注　意

電球を交換するときは、正規のワット数のものを使用してください。これ以外のものを使用すると、正常に作動しません。

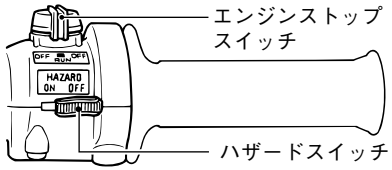
JAU02083

◆ホーンスイッチ（HORN）

スイッチを押すとホーンが鳴ります。

要　点

必要なときにのみ使用してください。



JAU02073

◆ハザードスイッチ（HAZARD）

故障などの非常時に、他車に知らせるために使用します。
メインスイッチをONにして、ハザードスイッチをONにすると、すべての方向指示灯が点滅します。

⚠注　意

長時間ハザードスイッチをONのままにすると、バッテリーあがりの原因になります。

JAU03993

◆エンジンストップスイッチ（ENGINE STOP）

非常時に、エンジンをすぐに停止させるスイッチです。通常はRUNにしておきます。

▲警　告

非常時にエンジンストップスイッチでエンジンを停止させたときは、マフラーやエンジンなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。

▲注　意

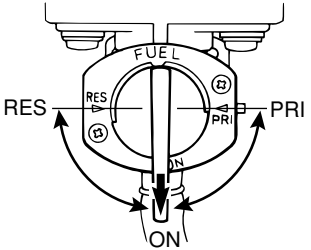
- **非常時にエンジンストップスイッチでエンジンを停止させたときは、必ずメインスイッチをOFFにしてください。ON のままですと、バッテリーあがりの原因となります。**
- **走行中に、エンジンストップスイッチをRUN→OFF→RUNにしないでください。エンジンの回転が不円滑となり、エンジン不調の原因となります。また、排出ガス浄化装置の故障の原因となります。**

要　点

OFFにすると、エンジンは始動できません。

JAU02106

フューエルコック



この車のフューエルコックは自動コックです。ONおよびRESの位置でエンジンが停止すると、自動的にガソリンの流れが止まります。

ON

始動および走行時のレバー位置です。

RES

予備燃料（予備容量約3L）のレバー位置です。

ONで走行中にガソリンがなくなったら、レバーをこの位置にします。予備燃料が使用できますが早めに給油してください。給油を終えたらレバーをONに戻してください。

PRI
RESの位置でガソリンがなくなり、給油するときにこの位置にします。（給油後の始動が容易になります。）
給油を終えたらレバーをONに戻してください。

要　点

ONで走行中にガソリンがなくなったときは、約1分間レバーをPRIにしてからRESにしてください。始動が容易になります。

JAU03828

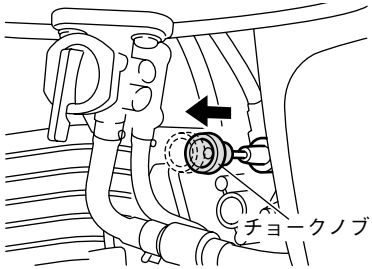
チョークノブ

エンジンが冷えているときは、チョークノブを引くと始動が容易になります。

要　点

この車のチョークノブには、2段階の節度があります。

エンジンが始動したら、20～30秒後にチョークノブを1段目まで戻します。
エンジンが充分暖まったら、チョークノブをいっぱいまで戻します。



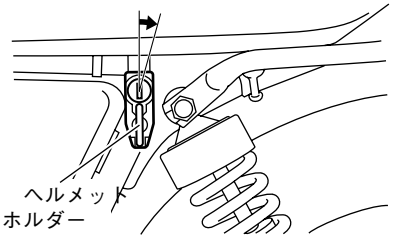
⚠注　意

走行するときは、必ずチョークノブを戻してください。

JAU04072

ヘルメットホルダー

キーでロックを解除し、ヘルメットのあごひもの金具部分を掛けてロックします。



⚠警　告

ヘルメットをヘルメットホルダーに掛けたまま走行しないでください。ヘルメットが運転を妨げ、思わぬ事故の原因になったり、ヘルメットが損傷し保護機能が低下することがあります。また、車に損傷を与えることがあります。

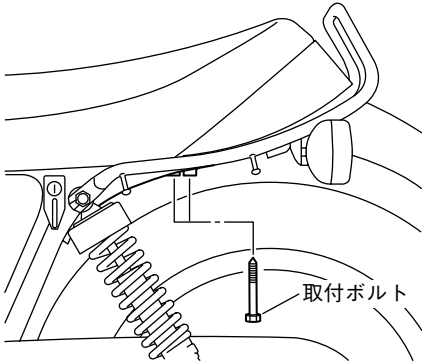
要　点

ヘルメットホルダーは、常にロックしておいてください。

JAU02136

シートの取り外しかた

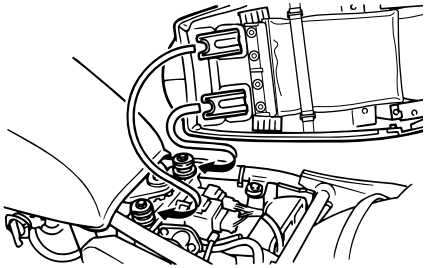
シート裏側の取付ボルトを外し、シートを外します。



JAU02146

シートの取り付けかた

シート前方のストッパーを車体のフックに入れ、取付ボルトを締め付けます。



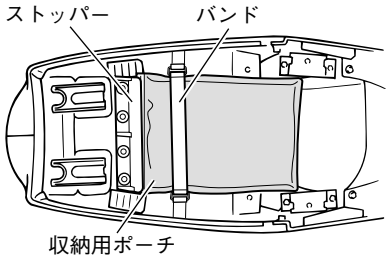
要　点

シートが正しく取り付けられているか確認してください。

JAU04122

書類入れ

シートを外すとシート裏側に書類入れ（収納用ポーチ）があります。
車検証、保険証、メンテナンスノートはビニール袋に入れ、ここに保管してください。



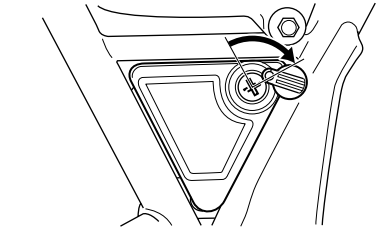
要　点

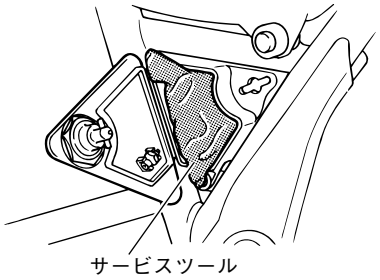
収納用ポーチはファスナー側を前に向けてストッパーに差し込み、バンドで固定してください。

JAU02277

サービスツール

右のサイドカバー下側にあるツールボックスに格納してあります。
ツールボックスはキーでロックを解除し、開けてください。





JAU02292

サスペンションセッティング

各自の好みや路面、走行状況に応じて調整ができます。

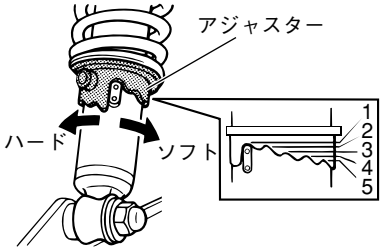
JAU02307

◆リヤクッション

リヤクッションのセッティングには、スプリングの取付荷重の調整があります。

JAU03229

スプリングの取付荷重の調整
アジャスターを回すと、スプリングの取付荷重を切り替えることができます。



1名標準値	1段
調整範囲	1段（ソフト）～5段（ハード）

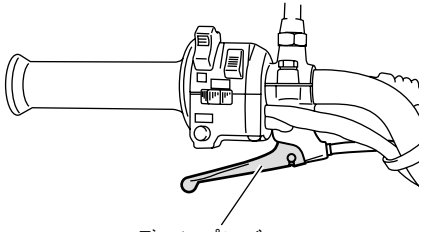
⚠警　告

アジャスターは左右同じ位置にしてください。左右が異なると、操縦安定性に悪影響をおよぼします。

JAU02321

デコンプレバー

デコンプレバーを握ることによってエキゾーストバルブを開放状態にし、キックインジケーターのマーク合わせを容易にします。



▲注　意

エンジン始動中は、デコンプレバーを握らないでください。

JAU02336
燃料補給

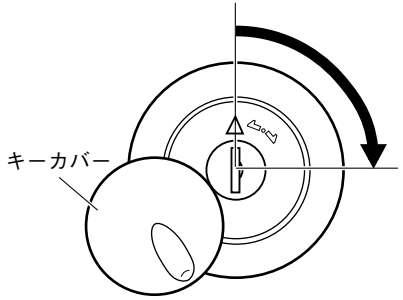
JAU04761
ガソリンの給油

⚠警　告

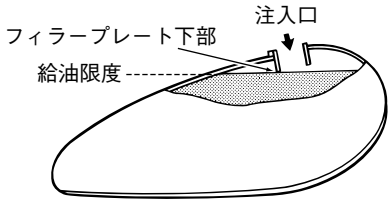
給油時およびガソリンを取り扱う場合は、次のことを必ず守ってください。

- **給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。**
- **フューエルタンクキャップを開ける前に、車体などの金属部分に触れて静電気の除去を行ってください。身体に静電気を帯びた状態で給油すると、放電による火花で引火する場合があり、ヤケドするおそれがあります。**
- **給油操作は、必ず一人で行ってください。複数で行うと静電気が除去できない場合があります。**
- **給油は、必ず屋外で行ってください。**
- **給油限度を超えてガソリンを入れないでください。走行中にガソリンがにじみ出ることがあり危険です。**
- **給油後、フューエルタンクキャップを確実に閉めてください。**

1. キーカバーを開けます。
2. キーを差し込み、時計方向に回してフューエルタンクキャップを開けます。



3. ガソリンを給油します。
   ガソリンは、注入口にあるフィラープレート下部より上に入れないでください。



タンク容量：約12L（予備容量含）
指定燃料：無鉛レギュラーガソリン

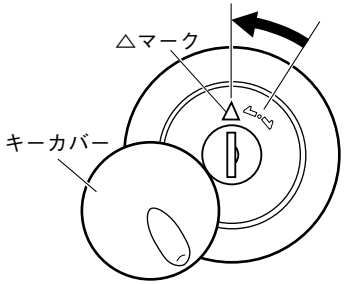
⚠注　意

- **必ず指定燃料を使用してください。指定以外の燃料を使用するとエンジンの始動性が悪くなったり、出力低下などのエンジン不調の原因となる場合があります。また、エンジンや燃料系の部品を損傷するおそれがあります。**
- **こぼれたガソリンは、布きれなどできれいにふき取ってください。**
- **タンクにゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。**

4. 給油後は、手で押さえてフューエルタンクキャップを確実に閉めます。

要　点

フューエルタンクキャップの△マークを前方に向けてください。



5. キーを反時計方向に回して抜き、キーカバーを閉めます。

要　点

キーを抜き取ると、フューエルタンクキャップを閉めることはできません。また、フューエルタンクキャップを正しく閉めないと、キーを抜き取ることはできません。

JAU02374
運転操作

JAU02375
エンジンのかけかた

エンジンをかける前に

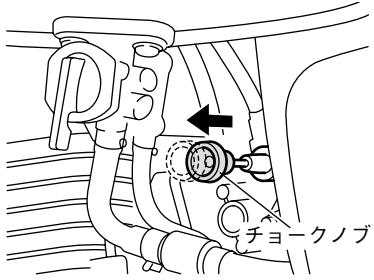
1. フューエルコックをON（あるいはRES）にします。
2. メインスイッチをONにします。
3. エンジンストップスイッチがRUNか確認します。
4. ギヤチェンジをニュートラルにします。（ニュートラルランプが点灯します。）

⚠警　告

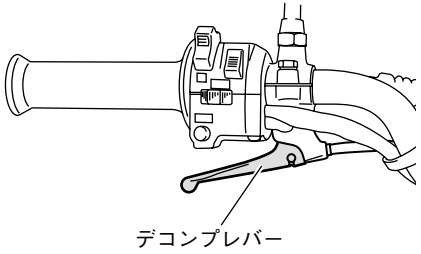
- **ギヤチェンジをニュートラルにしないと、キックしたときに飛び出しや転倒することがあります。必ずニュートラルを確認してエンジンを始動してください。**
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。**

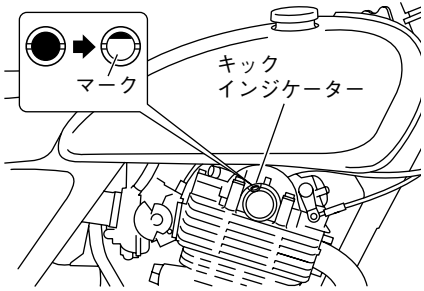
JAU02391
◆エンジンが冷えているとき（外気温１０℃以下のとき）

1. チョークノブをいっぱいに引きます。



2. デコンプレバーを引き、キックインジケーターのマークが見えるまでキックペダルをゆっくり踏みます。





3. デコンプレバーを放しスロットルグリップを戻します。
4. 力強くキックします。
5. エンジンが始動したら、２０～３０秒後にチョークノブを一段戻して暖機運転を行います。
6. エンジンが充分暖まり、エンジンの回転が安定したらチョークノブを元に戻します。

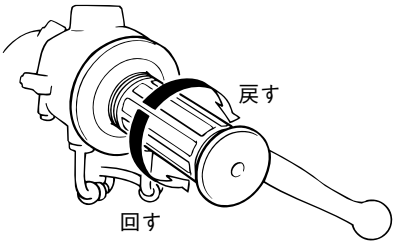
◆エンジンが冷えているとき（外気温１０℃以上のとき）

1. チョークノブをいっぱいに引き、一段戻します。
2. デコンプレバーを引き、キックインジケーターのマークが見えるまでキックペダルをゆっくり踏みます。
3. デコンプレバーを放しスロットルグリップを戻します。
4. 力強くキックします。
5. エンジンが充分暖まり、エンジンの回転が安定したらチョークノブを元に戻します。

JAU02412

◆エンジンが暖まっているとき

1. デコンプレバーを引き、キックインジケーターのマークが見えるまでキックペダルをゆっくり踏みます。
2. デコンプレバーから手を放し、キックペダルを上まで戻します。
3. スロットルグリップを元に戻し、力強くキックします。



JAU02426

◆４～５回キックしても始動しないとき

チョークノブを元に戻し、スロットルグリップをいっぱいに開けると始動しやすくなります。

⚠注　意

エンジンが始動したら、スロットルグリップをすばやく戻してください。

JAU02432

◆エンジンの止めかた

メインスイッチをOFFにするとエンジンが止まります。

JAU04176

走りかた

1. サイドスタンドを確実に格納します。

⚠警　告

- **サイドスタンドを出したまま走行すると、スタンドが地面に接触して運転操作に支障をきたすことがあり、たいへん危険です。**
  この車には発進時のサイドスタンドの格納忘れを防止するサイドスタンドスイッチが装備されています。発進時には必ず格納してください。
- **走行中にサイドスタンドを操作するとエンジンが停止し、思わぬ事故の原因となります。走行中はサイドスタンドを操作しないでください。**

⚠注　意

サイドスタンドがスムーズに作動しないときは、取付部に注油してください。

2. クラッチレバーを握り、シフトペダルでギヤチェンジを 1 速に入れ、静かに発進します。

要　点

サイドスタンドが確実に戻っていないときギヤチェンジをすると、サイドスタンドスイッチによりエンジンが停止します。

3. 車のスピードに応じてギヤチェンジをします。

⚠注　意

- **タコメーターの指針がレッドゾーンに入らないように注意して走行してください。**
- **からふかしや 1 速、2 速での急加速は、レッドゾーンに入りやすいので注意してください。**

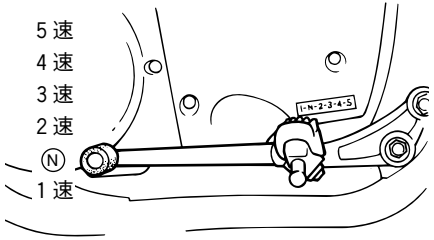
⚠警　告

走行中に異常を感じたときは、すぐにヤマハ販売店にて点検・整備を受けてください。

JAU04107

ギヤチェンジのしかた

この車はリターン式の5段変速です。
ギヤチェンジは、スロットルグリップを一度戻してからクラッチレバーを握り、シフトペダルで操作します。



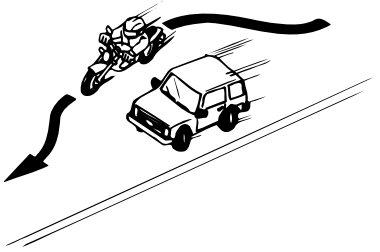
⚠注　意

- **シフトペダルは、足ごたえがあるまで確実に操作してください。**
- **クラッチレバーを確実に握らずにギヤチェンジしたり、無理なギヤチェンジは、チェンジ機構の故障の原因になります。**

JAU02448

シフトダウンのしかた

追い越しや登坂時などにシフトダウン（低速ギヤにチェンジ）をすると、強力な加速力および登坂力が得られます。なお、高速で急激なシフトダウンを行うと、エンジンの回転が上がりすぎてエンジンやミッションに悪影響を与えます。



⚠警　告

急激なシフトダウンは走行安定性をそこない、転倒などの原因となりますのでしないでください。

⚠注　意

ギヤチェンジは必ずクラッチレバーをいっぱいに握って行ってください。
クラッチレバーをいっぱいに握らずに強引なギヤチェンジを行うと、エンジントラブルの原因となります。

JAU02460

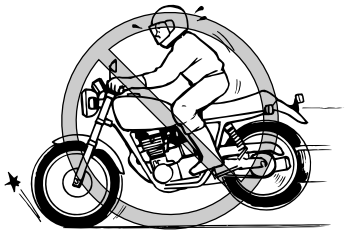
ならし運転のしかた

初回 1 か月目（または1,000km走行まで）の点検までは、ならし運転をしてください。
ならし運転中はエンジン回転数を4,000r/min以下で走行してください。
また、不要なからふかしや急加速、急減速はしないでください。
ならし運転を行うと車の寿命を延ばします。

JAU04636

ブレーキの使いかた

- ブレーキは前後輪同時にかけてください。
- 不要な急ブレーキはかけないでください。
  急ブレーキをかけると、横すべりや転倒の原因となるときがあります。



⚠警　告

雨の日や水たまりを走行した後は、ブレーキのききが悪くなることがあります。
ききが悪いときは、安全な場所で前後の車に充分注意し、低速で走行しながらききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させ、ブレーキの湿りをかわかしてください。

要　点

- 前輪または後輪ブレーキだけを使うと、横すべりや転倒の原因となるときがあります。必ず前後のブレーキを同時にかけてください。
- 雨の日や路面がぬれているところ、雪道や凍った道路では、滑りやすく制動距離も長くなります。速度を落として、余裕をもった運転をしてください。
- 長い下り坂などで連続してブレーキを使用すると、フェード現象の原因となります。このようなときは、エンジンブレーキと断続的なブレーキ操作で走行してください。

要　点

- フェード現象
  ブレーキ部の温度が上昇すると、ブレーキのききが悪くなるか、まったくきかなくなる現象。
- エンジンブレーキ
  走行中、スロットルグリップを戻したときにかかる制動力で、低速ギヤほどエンジンブレーキがききます。

JAU02478

エンジンの非常停止

何らかの原因でエンジンのコントロールができなくなると、きわめて危険な状態になります。
このような非常時にメインスイッチでエンジンを停止できないときは、エンジンストップスイッチをOFFにしてください。ハンドルから手をはなすことなく、直ちにエンジンを停止することができます。

JAU02482
日常点検

JAU03277
日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、道路運送車両法で、1日1回の日常点検を行うことが義務づけられています。
必ず実施してください。

⚠警　告

- **日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

要　点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

JAU02486
日常点検箇所／点検内容

詳しい点検の方法は、次頁以降の日常点検の方法および別冊「メンテナンスノート」の点検整備のしかた以降を参照してください。

点検箇所	点　検　内　容
ブレーキ	● ブレーキペダルの踏みしろおよびレバーの握りしろが適切で、ブレーキのききが充分であること。 ● ブレーキ液の量が適当であること。
タイヤ	● タイヤの空気圧が適当であること。 ● 亀裂、損傷がないこと。 ● 異常な摩耗がないこと。 ※溝の深さが充分あること。
エンジン	※エンジンオイルの量が適当であること。 ※かかり具合が良好で、かつ、異音がないこと。 ※低速、加速の状態が適当であること。
灯火装置および方向指示灯	点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。
運行において異常が認められた箇所	当該箇所に異常がないこと。

（注）
※印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期（長距離走行時や洗車、給油後など）に実施をしてください。

⚠警　告

点検するときは下記の内容に注意してください。

- **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選んで行ってください。**
- **エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。**
  ヤケドに注意してください。
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。**
- **走行して点検するときは、交通状況に注意してください。**

JAU03530

日常点検の方法

◆ブレーキレバーの遊び／ブレーキペダルの遊び、およびブレーキのきき具合の点検

JAU02501

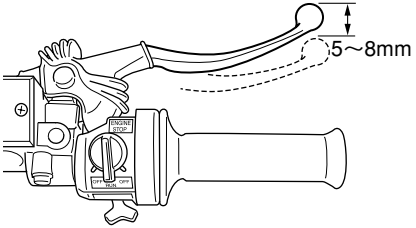
ブレーキの遊びの点検

＜前輪ブレーキ＞

ブレーキレバーを軽く握り、抵抗を感じるまでのレバー先端部の遊びが規定の範囲にあるかを点検します。

遊びは5～8mm

（ブレーキレバーの遊びの調整は45ページ参照）



▲警　告

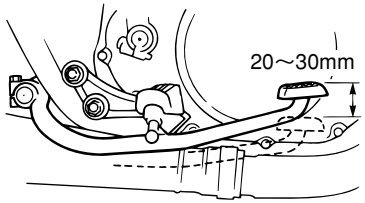
ブレーキレバーの引き具合がやわらかく感じられるときは、エアが混入しているおそれがあります。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

＜後輪ブレーキ＞

ブレーキペダルを手で押し、抵抗を感じるまでの遊びが規定の範囲にあるかを点検します。

遊びは20～30mm

（ブレーキペダルの遊びの調整は45ページ参照）



JAU02502

ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、前輪ブレーキ、後輪ブレーキを別々に作動させたときのきき具合を点検します。

ブレーキのきき具合が悪いときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

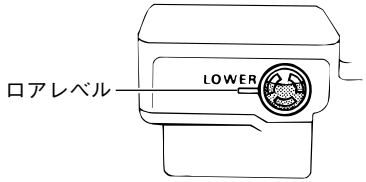
▲警　告

走行して点検するときは、交通状況に注意し、低速で走行しながら行ってください。

JAU04653

◆ブレーキ液量の点検

マスターシリンダーキャップ上面を水平にして、ブレーキリザーバータンク内の液量がロアレベル以上にあるかを点検します。
（ブレーキ液の補給は、46ページ参照）



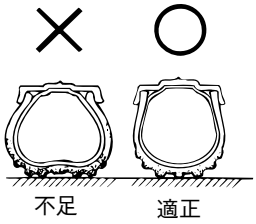
▲警　告

ブレーキ液の減りが著しいときは、ブレーキ系統の液漏れが考えられます。
ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU03513

◆タイヤの空気圧

タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が不足していないかを点検します。
たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。
（タイヤ空気圧は51ページ参照）



JAU03553

◆タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないか、また、釘、石、その他の異物が刺さっていないかを点検します。

JAU02509

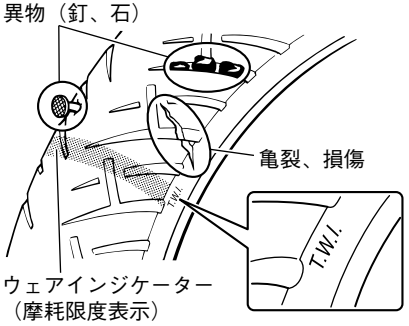
◆タイヤの異常な摩耗

タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

JAU03272

◆タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さをウェアインジケーターで点検します。ウェアインジケーターがあらわれたら、タイヤを交換してください。タイヤに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。



⚠警　告

タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりパンクの原因になります。異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

要　点

- ウェアインジケーターはタイヤの溝が0.8 mmになるとあらわれます。
- より安全な走行のため、溝の深さが前輪1.6 mm、後輪2.0 mm以下になりましたらタイヤの交換をおすすめします。

JAU04380

◆エンジンオイル量の点検

1. 平坦な場所でエンジンを始動し、2～3分間アイドリング運転します。

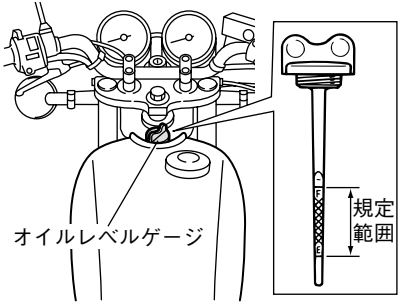
要　点

走行直後でエンジンを充分に暖機してあれば、アイドリング運転は不要です。

2. エンジンを止め、車を垂直にします。
3. 2～3分後、エンジンオイルがオイルレベルゲージの規定範囲内にあるかを点検します。

要　点

オイルレベルゲージはねじ込まないで点検します。



オイルが不足しているときは、48ページを参照して補給してください。

⚠警　告

エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。
ヤケドに注意してください。

JAU04599

◆エンジンのかかり具合、異音の点検

エンジンがすみやかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。
エンジンから異音がしないかを点検します。

JAU02541

◆低速、加速の状態の点検

暖機運転後に、アイドリングがスムーズに続くかを点検します。
スロットルグリップを徐々に回してエンジンを加速したとき、スロットルグリップもエンジンもスムーズに回るかを走行などして点検します。このとき、エンジンストップ（エンスト）やノッキングなどが起きたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02544

◆灯火装置および方向指示灯の点検

1. メインスイッチをONにします。
2. テールランプ、ブレーキランプなどの灯火装置や方向指示灯の点灯・点滅具合が良好かを点検します。
3. エンジンを始動し、ヘッドライトが良好かを点検します。
4. レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

点灯しないときはヒューズを点検（53ページを参照）し、異常がないときは電球を交換（58ページを参照）してください。

⚠注　意

電球は、正規の規格と同じものと交換してください。これ以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

JAU02552

◆運行において異常が認められた箇所の点検

運行中に異常を認めた箇所について、運行に支障がないかを点検します。

JAU02968
定期点検整備

JAU03279
定期点検整備の実施

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行うことが義務づけられています。二輪自動車または原動機付自転車については、6か月点検と12か月点検の2種類があります。

⚠警　告

- **定期点検整備を怠ると重大な事故、ケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

要　点

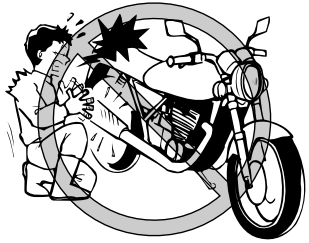
点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

JAU02555
定期点検整備の方法

定期点検項目と基本的な点検内容は別冊の「メンテナンスノート」に記載してあります。ここでは、この車独自の内容を補足説明しています。
実際の点検作業にあたっては、別冊「メンテナンスノート」とあわせてご使用ください。

要　点

- 点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入してください。ご自身でできない項目については、ヤマハ販売店で点検を受け、記録してください。
- 点検の記録は廃車されるまで保存してください。
- メーカー指定項目の点検結果は、定期点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。



⚠警　告

点検するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

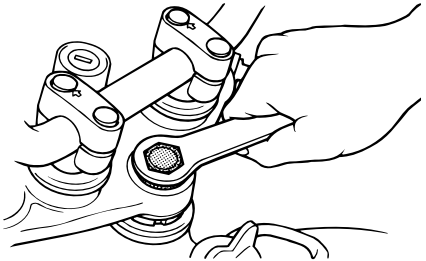
- **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
- **エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。**
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。**

- **走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

JAU02557

アンダーブラケットの取り付け状態の点検（ステアリングステム）

アンダーブラケットの締付ボルトまたは締付ナットに、ゆるみがないかを工具で点検します。

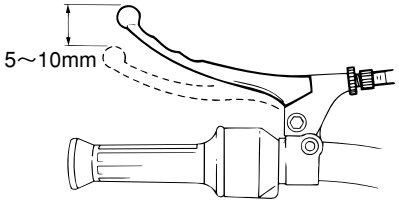


締付ボルトまたは締付ナットにゆるみがあるときは、ヤマハ販売店で規定トルクでの締め付けを依頼してください。

JAU02559

クラッチレバーの遊びの点検

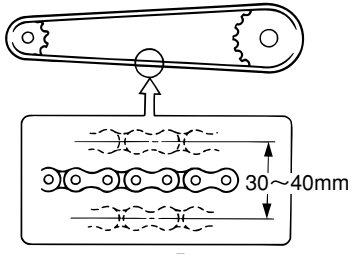
クラッチレバーを手で抵抗を感じるまで引き、レバー先端部の遊びの量が規定の範囲にあるかをスケールなどで点検します。
遊びは5～10mm
（クラッチレバーの遊びの調整は47ページ参照）



JAU02563

ドライブチェーンの点検

メインスタンドを立て、前後スプロケット間のチェーン中央部を手で上下に動かし、たるみ量が規定の範囲にあるかをスケールなどで点検します。
また、リヤホイールを浮かし、タイヤを手でゆっくり回しながらチェーンが滑らかに回転するか、給油は充分かを点検します。
（ドライブチェーンの調整は、50ページ参照）



JAU02566

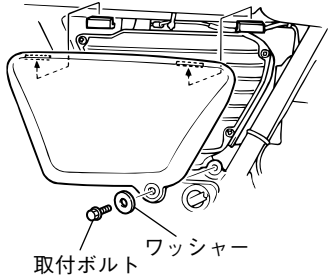
エアクリーナーエレメントの点検

エレメントを取り出し、汚れによる詰まりなどを点検します。
ほこりなどが著しく多い場所を走行したときは、定期点検期間より早めに点検・清掃を行ってください。

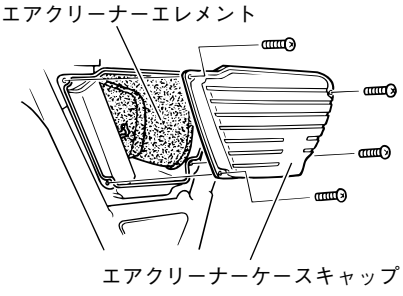
JAU04660

◆エアクリーナーエレメントの取り外し

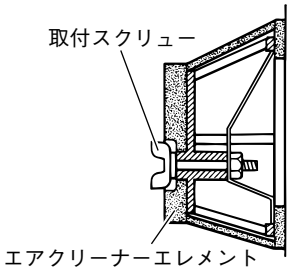
1. 取付ボルトを外し、右のサイドカバーを取り外します。



2. エアクリーナーケースキャップを外します。



3. 取付スクリューを外し、エアクリーナーエレメントを取り外します。



JAU02630

◆エアクリーナーエレメントの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。
（エレメントの清掃方法は、49ページ参照）

JAU02635

車体各部の給油脂状態の点検

車体各部の給油脂状態が充分であるかを点検します。
異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02643

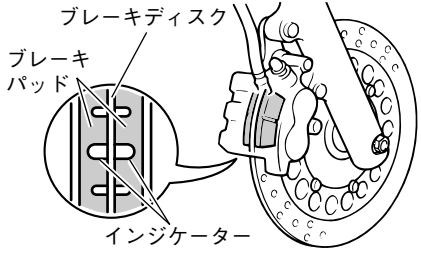
バッテリーの点検

この車のバッテリーは密閉式です。
バッテリー液の補充、点検は不要です。
バッテリーに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02652

ブレーキパッドの点検

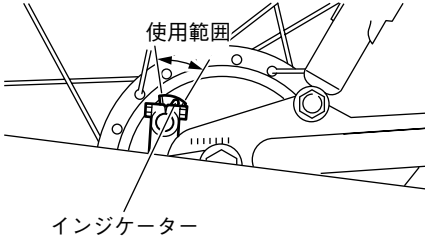
＜前輪ブレーキ＞
ブレーキパッドのインジケーター溝の深さで摩耗の状態を点検します。
インジケーター溝がなくなったら、ヤマハ販売店でブレーキパッドを交換してください。



JAU02658

ブレーキシューの摩耗点検

＜後輪ブレーキ＞
ブレーキシューの摩耗の状態を点検します。
ブレーキペダルをいっぱいに踏み込んだとき、インジケーターがシュープレートの使用範囲から外れるとブレーキシューの使用限度です。
ヤマハ販売店で交換・整備を受けてください。



⚠警　告

ブレーキシューの交換時には、ブレーキシューのテンションスプリングも同時に交換してください。

JAU02662
やさしい整備

JAU03281
やさしい整備

点検をして車に異常が認められたときには、調整、清掃、交換などの整備が必要となります。ここでは、通常行われることが多い簡単な整備方法を説明しています。

⚠警　告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。
点検・整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- **点検・整備は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
- **エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。**
  ヤケドに注意してください。
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。**
  風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。
- **走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。**

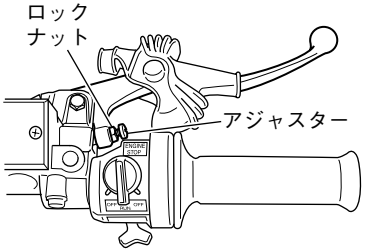
要　点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

JAU02667

ブレーキの遊びの調整

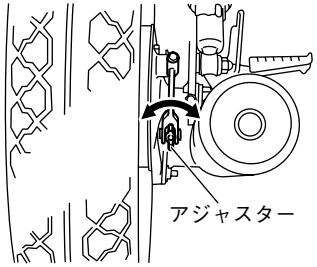
＜前輪ブレーキ＞
ブレーキレバー先端部の遊びが5～8mmになるように、ロックナットをゆるめてアジャスターで調整します。

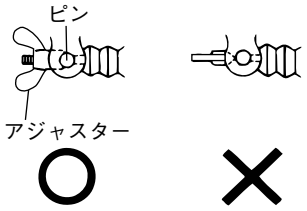


▲注　意

調整後、ロックナットを確実に締め付けます。

＜後輪ブレーキ＞
ブレーキペダル先端部の遊びが20～30mmになるように、アジャスターで調整します。





要　点

アジャスターは、必ずピンとかみ合わせてください。

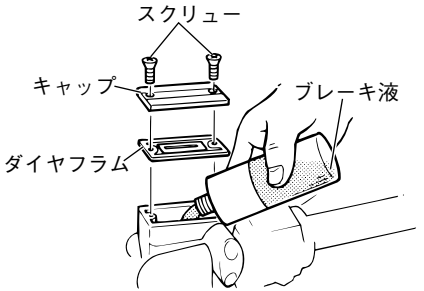
▲注　意

ブレーキ調整後は、必ずブレーキランプの点灯と、ブレーキの引きずりがないかを確認してください。

JAU03861

ブレーキ液の補給

1. リザーバータンクのまわりをきれいにし、異物がタンク内に入らないようにします。
2. スクリューを外し、キャップとダイヤフラムを取り外します。
3. ブレーキ液をロアレベル以上補給します。



4. ダイヤフラムのかみ込みに注意して、スクリューでキャップを取り付けます。

指定ブレーキ液：
ヤマハ純正ブレーキフルードＢＦ－４
（ＤＯＴ－４）

⚠警　告

- **ブレーキ液は、銘柄や性能が異なるものを混入しないでください。**
  銘柄や性能が異なるブレーキ液を混入すると、ブレーキのきき具合やブレーキ系統の部品に悪影響を与えるおそれがあります。
- **ブレーキ液を補給するときは、リザーバータンク内にゴミや水が混入しないようにしてください。**
- **液面はブレーキパッドの摩耗と共に下がってきます。**
  液が早く減少するようでしたら、お買い上げのヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。
- **ブレーキ液は安全のために１年毎の交換をおすすめします。**

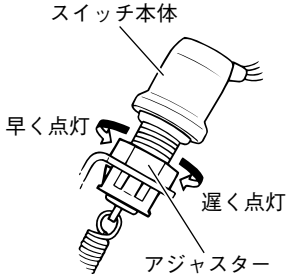
⚠注　意

- **ブレーキ液の補給は、入れすぎに注意してください。入れすぎると、ダイヤフラムなどを取り付けたときに、あふれます。**
- **ブレーキ液が塗装面やプラスチック、ゴム類に付着すると部品が腐食することがあります。付着したら、すぐにふき取ってください。**

JAU02684

ブレーキランプスイッチ

ブレーキがきき始める直前にブレーキランプが点灯するか点検します。
リヤブレーキランプスイッチの調整は、スイッチを指で押さえ、アジャスターを回して行います。



▲注　意

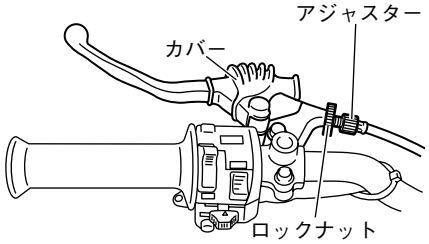
リヤブレーキランプスイッチを調整するときは、スイッチ本体を回さないでください。スイッチ本体を回すと、リード線を傷付けます。

フロントブレーキをかけたときもブレーキランプが点灯するか点検します。
異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02687

クラッチレバーの調整

レバー先端部の遊びが5～10mmになるように、カバーをずらし、ロックナットをゆるめてアジャスターで調整します。



▲警　告

調整後、エンジンをかけてギヤチェンジがスムーズにできるか、エンストなどしないかを確認してください。
なお、車の飛び出しに注意してください。

▲注　意

- **調整後は、ロックナットを確実に締め付けます。**
- **1か月に一度はクラッチケーブルの取り付け部に注油をしてください。ケーブルの寿命が伸びます。**

JAU04890

エンジンオイルの補給

1. 平坦な場所でエンジンを2～3分間アイドリング運転します。

要　点

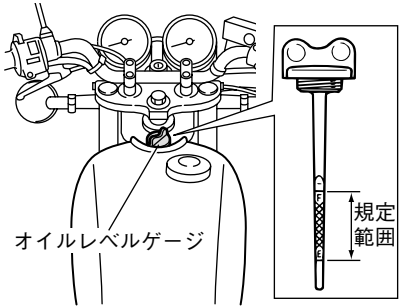
走行直後でエンジンを充分に暖機してあれば、アイドリング運転は不要です。

2. エンジンを止めてメインスタンドを立て（車を垂直にする）、2～3分後、オイルレベルゲージでオイル量を点検します。

要　点

オイルレベルゲージはねじ込まないで点検します。

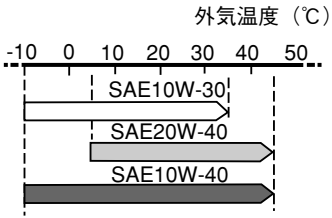
3. オイル量が規定量以下のときは、オイル注入口から補給します。



＜推奨エンジンオイル＞

	SAE	JASO
ヤマハ純正オイル エフェロプレミアム	10W-40	MA
ヤマハ純正オイル エフェロスポーツ	10W-40	MA
ヤマハ純正オイル エフェロベーシック	20W-40または 10W-30	MA

エンジンオイルの粘度は、外気温によって下表を参考にして使いわけてください。



JAU03088

◆エンジンオイルの交換時期

	エンジンオイル	オイルフィルター
初回	1か月点検時 または1,000km時	1か月点検時 または1,000km時
以降	3,000km走行毎 または1年毎	9,000km走行毎

⚠警　告

- **走行後やエンジン暖機運転後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。**
  ヤケドに注意してください。
- **油脂類の廃液は、法令（公害防止条例）で適切な処理を行うことが義務づけられています。ヤマハ販売店にご相談ください。**

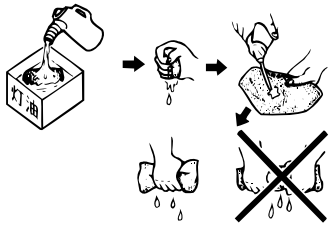
⚠注　意

- **化学添加剤は一切加えないでください。エンジンオイルはクラッチも潤滑しています。添加剤によりクラッチがすべる原因になります。**
- **補給時に、オイル注入口からゴミなどが入らないように注意してください。**
- **オイルをこぼしたときは、布などでよくふきとってください。**

JAU02724

エアクリーナーエレメントの清掃

1. エアクリーナーエレメントを取り外します。（41ページ参照）
2. エアクリーナーエレメントをきれいな灯油で洗浄し、ME-Rフィルターオイルに浸してから布きれなどで包み、しぼります。
3. エレメントをエアクリーナーケースに取り付けます。



⚠注　意

ガソリンや、有機性の揮発油（酸性、アルカリ性共に）で洗浄しないでください。

- **破れなどのあるものは交換してください。**
- **エアクリーナーエレメントの取り付けが悪いと、ゴミやほこりがエンジン内部に入り、摩耗や出力低下を起こして耐久性に影響を与えます。確実に取り付けてください。**
- **洗車時にエアクリーナーケースに水を入れないでください。内部に水が入ると、始動不良などの原因になります。**
- **著しくほこりなどの多い場所を走行したときは、定期点検期間より早めに点検、清掃を行ってください。**

JAU04642

ドライブチェーン

◆給油

1. リヤホイールを浮かし、ホイールを手でゆっくり回しながら、チェーンやスプロケットに付着した泥や汚れを柔らかいブラシなどで落とします。その後、ME スーパーチェーンクリーナーで洗浄します。
2. チェーンを乾燥させた後、リヤホイールを手でゆっくり回しながら、チェーンにME-180 チェーンオイルを給油します。

▲注　意

この車はシールチェーンを採用しています。取り扱いには以下の点に注意してください。

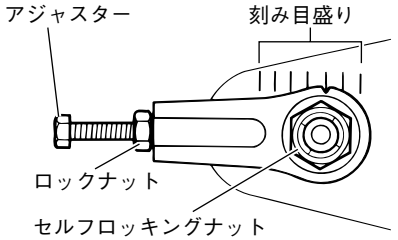
禁止

- **スチーム洗浄はしないでください。**
- **シンナー、ガソリンなどの揮発性溶剤やワイヤーブラシを使用して洗浄しないでください。**

JAU03181

◆チェーンの張り調整

1. セルフロッキングナットをゆるめます。
2. ロックナットをゆるめてアジャスターで左右均等に締め込みます。（刻み目盛りを左右同位置にします。）
3. 張り具合が規定値になるように調整します。（41ページ参照）
4. 調整後、ロックナットとセルフロッキングナットを確実に締め付けます。



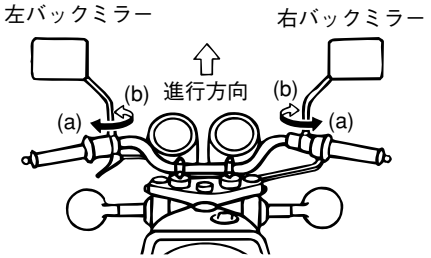
▲警　告

調整後、ブレーキ調整を行ってください。

JAU02753

バックミラー

◆バックミラーの取り付けおよび取り外しかた



- 右バックミラーは左ネジです。

左：反時計回り（a）に回すと締まります。
右：時計回り（b）に回すとゆるみます。

- 左バックミラーは右ネジです。

右：時計回り（a）に回すと締まります。
左：反時計回り（b）に回すとゆるみます。

JAU02758

タイヤ

◆空気圧

空気圧はタイヤの冷えているときに測定してください。

		前　輪	後　輪
タイヤ空気圧	1名乗車	175kPa (1.75kgf／㎠)	200kPa (2.00kgf／㎠)
	2名乗車	200kPa (2.00kgf／㎠)	225kPa (2.25kgf／㎠)
	高速走行	200kPa (2.00kgf／㎠)	225kPa (2.25kgf／㎠)
タイヤサイズ		90/100-18M/C 54S	110/90-18M/C 61S
指定タイヤ	メッツラー	ME77	ME77

JAU02769

◆溝の深さ

安定したコーナリングや操縦性などを確保して安全な走行を行うため、タイヤの溝には充分注意してください。一般的に二輪車のタイヤは溝の深さが前輪1.6mm、後輪2.0mm以下になりましたら交換をおすすめします。

⚠警　告

異なった種類のタイヤや指定サイズ以外のタイヤを使用することは、車の安全走行に悪影響がありますので使用しないでください。

JAU02772

バッテリー

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、バッテリーを取り外して清掃します。

⚠警　告

バッテリーは引火性ガス（水素ガス）を発生しますので、取り扱いを誤ると爆発し、ケガをすることがあります。次の点を必ず守ってください。

- **火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、タバコなどの火気を近づけないでください。爆発のおそれがあります。**
- **補充電は風通しのよいところで行ってください。**
- **ガソリン、油、有機溶剤などを付着させないでください。電そう割れの原因となることがあります。**
- **落下などの強い衝撃を加えないでください。**
- **バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。**
- **子供の手の届くところに置かないでください。**

応急手当

- **万一、バッテリー液が皮膚、衣服などについたときは、すぐに多量の水で洗い流してください。**
- **目に入ったときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。**

▲注　意

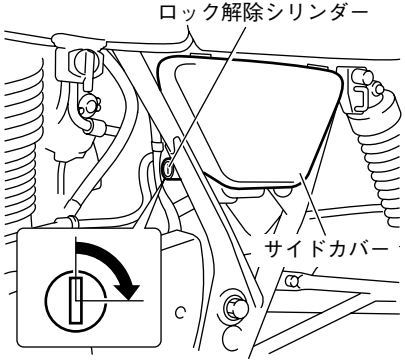
このバッテリーは密閉式の12Vです。

- **このバッテリーは液入り充電済です。液量点検および補水は必要ありません。**
- **補充電には、密閉式バッテリー専用充電器を使用してください。くわしくはヤマハ販売店にご相談ください。**
- **長期間ご使用にならないときは、6か月ごとに補充電してください。**
- **バッテリーを交換するときは、必ず同型式のバッテリーを使用してください。**

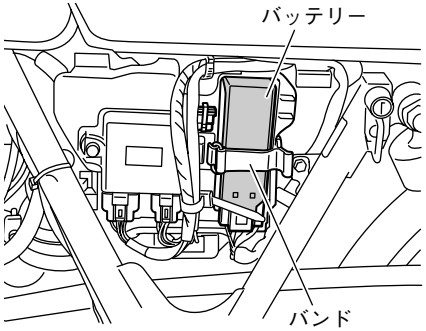
JAU04659

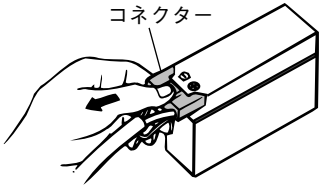
◆バッテリーの取り外し

1. ロック解除シリンダーにキーを差し込み、時計方向に回してロックを解除します。
2. 左のサイドカバーを取り外します。



3. バンドを外し、バッテリーを取り出します。
4. コネクターを抜き、バッテリーを取り外します。





要　点

バッテリーからコネクターを抜くときは、コネクターの中央を押さえてください。

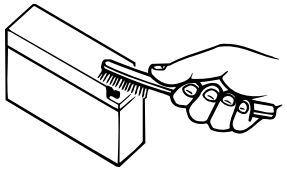
◆バッテリーの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

JAU02809

◆ターミナル部の清掃

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、やわらかいブラシなどで清掃します。また、白い粉がついているときは、ぬるま湯を注いでよくふき取ります。



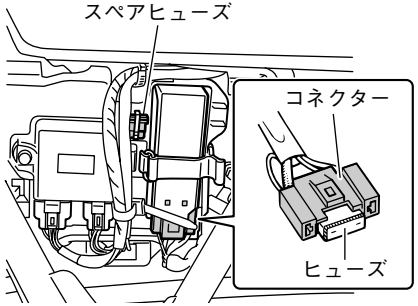
JAU02811

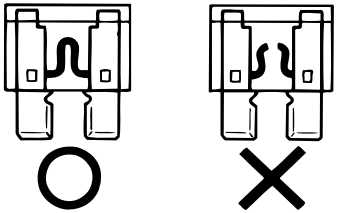
ヒューズ

左のサイドカバーを取り外すと、バッテリーのコネクターにセットされています。

規定ヒューズ：20A

ヒューズが切れたときは、原因を調べてからスペアと交換してください。





⚠注　意

- **交換するヒューズは、規格外のものを使用しないでください。**
- **指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱や焼損の原因になります。**
- **電装品類（ライト、計器など）を取り付けるときは、車種ごとに決められている「ヤマハ純正部品」を使用してください。それ以外のものを使用すると、ヒューズが切れたり、バッテリーあがりを起こすことがあります。**
- **洗車時ヒューズボックスのまわりに水を強く吹き付けないでください。漏電や短絡（ショート）の原因になります。**

JAU04649

◆ヒューズの取り外し

バッテリーからコネクターを抜き、コネクターにセットしてあるヒューズを取り外します。

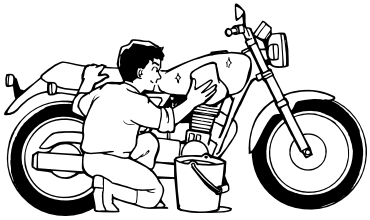
要　点

バッテリーからコネクターを抜くときは、コネクターの中央を押さえてください。

JAU02845
お車の手入れ

いつまでも車を長持ちさせるために、お手入れをしてください。
すみずみまで掃除すれば、普段気付かない異常箇所や摩耗が発見でき、故障の予防にもなります。

JAU02846
洗　車



雨天走行後など、車が汚れたときは早めに洗車してください。車をサビやキズから守ります。

- 中性洗剤を使用して充分に水洗いします。
- 柔らかい布で、車に付着した水分をよくふきとります。
- スチーム洗車や水道ホースなどで、車に直接圧力をかける洗車をしないでください。キズの原因になります。
- 洗車後、必要に応じて各部にグリースなどを注油してください。

⚠警　告

- **洗車はエンジンが冷えているときにしてください。**
- **洗車後、ブレーキのききが悪くなることがあります。ききが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、ききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りをかわかしてください。**
- **ブレーキディスクやパッドに、ワックスやグリースなどの油脂類をつけないでください。ブレーキがきかなくなり、事故の原因になることがあります。**

⚠注　意

- **エアクリーナーや電装品などに水が入らないように注意してください。故障の原因になります。**
- **マフラー内部に水がたまると、始動不良やサビの原因になることがあります。洗車時はビニール袋をかけるなどして、内部に水が入らないようにしてください。**
- **コンパウンドの入ったワックスは、プラスチック部分を傷つけますので使用しないでください。**

要　点

シートの下方から水を強くかけないでください。内部に水が入り、書類が濡れることがあります。

JAU02862

エキゾーストパイプのお手入れ

油分などが付着したままエンジンを始動すると、焼きムラが生じます。走行後は、必ずお手入れをしてください。

- 水洗いだけで落ちない汚れは、水分をよくふきとり、ステンレス流し台用洗剤や軽合金ホイールクリーナーなどでみがきます。
- しつこい汚れや焼きムラには、水洗い後よく水分をふきとり、細目のコンパウンドかサンドペーパー（1000番）でみがきます。その後、軽合金クリーナーなどで仕上げます。

JAU04127

保管のしかた

車はできるだけ敷地内に保管し、屋外に駐車するときはボディーカバーをかけてください。

なお、ボディーカバーはマフラーが冷えてからかけてください。

⚠注　意

長期間お乗りにならないときは、以下のことを守ってください。

- **保管する前にワックスがけをしてください。サビを防ぐ効果があります。**
- **6 か月ごとにバッテリーの補充電をしてください。**
- **長期保管後の走行前には、バッテリーの充電、および各部の点検をしてください。**

JAU04871

アフターケア用品について

大切な車の寿命は、使用するオイルの品質により大きく左右されます。ヤマハの車には、ヤマハ純正用品をご使用ください。

A）4サイクルオイルエフェロプレミアム
高回転・高負荷下でも油膜保持性能が高く、高性能エンジン搭載の中・大型車に最適な高品質オイルです。

B）4サイクルオイルエフェロスポーツ
オイル消費を抑え、高速走行、ロングツーリングなどでも優れた性能を発揮するマルチタイプのオイルです。

C）4サイクルオイルエフェロベーシック
一般走行、業務用に最適なコストパフォーマンスオイルです。

D）ブレーキフルード
高沸点、防錆性、安定性、ゴム劣化防止性に優れたブレーキフルードです。

E）ユニコンカークリーム（ワックス）
塗装面の汚れを簡単にとり、手間をかけずに美しい光沢が得られます。また、どんな塗装にも使用できる伸びのよいワックスです。

F）ME-180 防錆潤滑剤
防錆、潤滑、防湿、浸透力に優れた金属保護液です。

G）ME-180 チェーンオイル
フッ素樹脂配合により耐摩耗性、耐熱性に優れたチェーンオイルです。“ドライ”と“ウェットムースタイプ”があります。

H）ME スーパーチェーンクリーナー
チェーンに付着したグリースやオイルなどの油汚れを手軽に素早くクリーニングします。

I）ME-Rフィルターオイル
ヤマハコンペティションモデル専用に開発したフィルターオイルです。火山灰、サンド、赤土、泥ねい、泥水など、全日本MXラウンド全ての状況を考慮して開発・テストしてありますので、車は常に優れた性能を発揮できます。



サービスデータ

製品仕様

通称名		SR400
車名・型式		ヤマハ・BC-RH01J
寸法	全長	2085mm
	全幅	750mm
	全高	1105mm
	軸間距離	1410mm
	最低地上高	140mm
重量	車両重量	168kg
	前輪分布	78kg
	後輪分布	90kg
	車両総重量	278kg
	前輪分布	102kg
	後輪分布	176kg
乗車定員		2名
性能	定地燃費（国土交通省届出値）	44km/L（60km/h）
	最小回転半径	2400mm
原動機	最高出力	20kW(27PS)/7000 r/min
	最大トルク	29Nm(3.0kgf・m)/ 6500 r/min
	原動機種類	4サイクル、空冷、OHC
	気筒数・配列	単気筒
	総排気量	399㎤（cc）

原動機	内径×行程	87.0×67.2mm
	圧縮比	8.5：1
	エアクリーナー形式	湿式ウレタンフォーム
	クラッチ形式	湿式多板
	ミッション・チェンジ方式	常時噛合式前進5段
	始動方式	キック式
	点火方式	CDI
車体	フレーム形式	セミダブルクレードル
	キャスター	27° 40′
	トレール	111mm
	ハンドル切れ角	左右各42°
	フューエルタンク容量	12L / 予備容量約3L
	ブレーキ形式（前）	油圧式ディスクブレーキ
	↑（後）	機械式ドラムブレーキ
	懸架方式（前）	テレスコピック
	↑（後）	スイングアーム
	緩衝方式（前）	オイルダンパー／コイルスプリング
	↑（後）	オイルダンパー／コイルスプリング
	タイヤサイズ（前）	90/100-18M/C 54S（チューブ有）
	↑（後）	110/90-18M/C 61S（チューブ有）

減速比	第1次減速歯数・比	77/30	2.566
	1速	33/14	2.357
	2速	28/18	1.555
	3速	25/21	1.190
	4速	22/24	0.916
	5速	21/27	0.777
	第2次減速歯数・比	56/19	2.947
灯火・計器	ヘッドライト	12V 60/55W（ハロゲン）	
	ブレーキ／テールランプ	12V 21/5W	
	方向指示灯	12V 21W×4	
	メーター灯	12V 1.7W×4	
	パイロットランプ ニュートラル	12V 1.7W	
	パイロットランプ ヘッドライト上向き表示	12V 3.4W	
	パイロットランプ 方向指示器表示	12V 1.7W	
	パイロットランプ エンジン警告	12V 1.7W	
	パイロットランプ イモビライザーシステム表示	LED	

定地燃費は定められた試験条件のもとでの値です。走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件によって異なります。

JAU02903

サービスデータ

エンジンオイル	交換時	2000 ㎤（cc）	ホイールトラベル		前	150 mm	スパークプラグ	型式	BPR6ES
	オーバーホール時	2400 ㎤（cc）			後	105 mm			W20EPR
ドライブチェーンの張り具合		30～40 mm	タイヤ空気圧	1名乗車	前	175 kPa（1.75 kgf/㎠）		ギャップ	0.7～0.8 mm
クラッチレバーの遊び		5～10 mm			後	200 kPa（2.00 kgf/㎠）			
ブレーキの遊び	前	5～8 mm		2名乗車	前	200 kPa（2.00 kgf/㎠）			
	後	20～30 mm			後	225 kPa（2.25 kgf/㎠）			
フロントブレーキ	パッドの厚さ	6.2 mm		高速走行	前	200 kPa（2.00 kgf/㎠）			
	パッドの摩耗限度	0.8 mm（インジケーター付）			後	225 kPa（2.25 kgf/㎠）			
リヤブレーキ	シューの厚さ	4 mm	バッテリー	型式		GT4B-5			
	シューの摩耗限度	2 mm（インジケーター付）		容量		12V 2.5Ah			

JAU02905

サービスマニュアル（別売）の紹介

サービスマニュアルには、点検・調整や分解・組立の方法を写真やイラストを用いて説明してあります。車の概要や構造を理解するためにご利用ください。

サービスマニュアルのご注文は、ヤマハ販売店で受けております。部品番号をお知らせください。

SR400　サービスマニュアル	部品番号 3HT-28197-J0

JAU03771

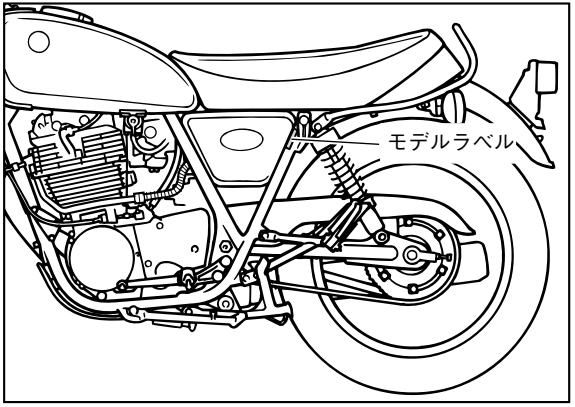
車両情報

◆モデルラベル

パーツオーダー、アフターサービスなどに使用します。

モデルラベルは、あなたの車を正確に特定するための情報をコード化したものです。ご相談の際には、車名およびモデルラベルの内容を正確にご連絡ください。

モデルラベルは、左サイドカバー後方のフレームに貼り付けてあります。



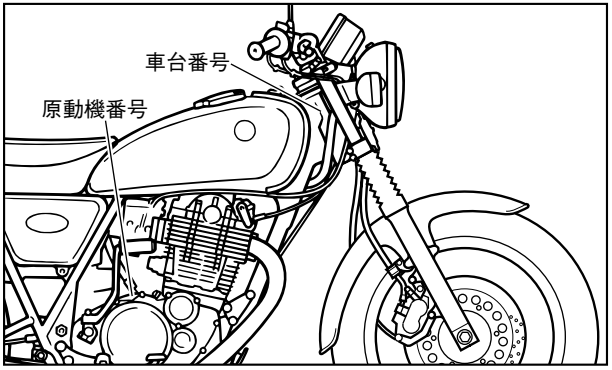
あなたの車の情報を記入し、控えにしてください。

車　名　は	SR400
モデルラベル	製品仕様を示しています。 ○ カラーリングを示しています。 ●

◆車台番号、原動機番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。

詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。



JAU04603

こんなときは、このページをご覧ください。

- エンジンが始動しないときは ・・・・・・・・・・・・・P27
- 走行中にガソリンがなくなったときは ・・・・・・・・・P25
- ランプ類が点灯しないときは（ヒューズ切れ） ・・・・P53
- ランプ類が点灯しないときは（電球切れ） ・・・・・・P58
- ブレーキのきき具合に異常があるときは ・・・・・・・P43

あなたの街のあなたのお店

最寄りのお客様相談窓口については、メンテナンスノートの巻末をご覧ください。

3HT-28199-J4

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

SR400取扱説明書
021200
再生紙を使用しています